

## 令和1年度広瀬保育園自己評価

広瀬保育園 園長 武内秀樹

職員を対象とした自己評価を実施し、今後の保育内容の充実に繋げていきたいと考えています。

### 評価の総評

基準を満たした処遇が行われているが、法令理解について法令に触れる機会が少なく理解が進んでいないことや、異文化との関りについてどのように対応していったらよいのか悩んでいることが集計結果から見受けられました。行政から発出された通知など、会議や研修時に職員に対して情報提供をすることを今まで以上に行っていきたい。  
今後も子ども一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心感や達成感が実感できるように援助し、その中で子どもの思いや意見を尊重できるよう職員が一体となって取り組んでいきます。

### 教育及び保育の基本と目線

常に子どもを中心に考え、子どもにとって幼児期にふさわしい生活の中で、発達に必要な体験を積み重ねていくことができるよう努めていくこと。  
子どもたちを取り巻く状況や、これからの幼児教育の方向を見据え、現場に求められている社会のニーズを十分に把握した上で、幼児期の教育・保育の基本を捉え直すとともに、具体的な手だてを考え、質の高い教育・保育の実現にしっかりと取り組んでいくことが重要。  
幼児に対して愛情をもち、温かいまなざしを向け、幼児の心に寄り添う関わりをする。  
いろいろなことを受け入れていこうとする姿勢をもち、教育・保育の知識や技術を主体的に学ぼうとする。  
専門職としての自覚をもち、幼児を理解し、(個々の内面の理解・発達の過程の理解等)幼児一人一人との信頼関係を築くとともに、保護者との連携を図る。  
環境を通して行う教育・保育を理解し、発達の見通しをもってねらいと内容を設定し、計画的な環境の構成を図る。

### 「ねらい」及び「内容」

生活の中で、様々なものから刺激を受け、敏感に反応し、諸感覚を働かせて、そのものを受け止め、楽しんだり、面白さや不思議さなどを感じられるよう環境を設定する。  
自然や社会の様々な出来事と出会う体験をした事を心の中に豊かに蓄積していくために、柔軟な姿勢で一人一人の子どもと接し、一方的に押し付けるのではなく、イメージに関心をもって関わり、表現できるようにする。

### 保護者に対する子育て支援

保護者に向き合い、信頼を示し、受容し、その自己決定を尊重することで、保護者と保育士の間で信頼関係が築かれていく。保護者からの子育てに関する相談や悩みなどを受けた時は、保育士内共有し、それについて全員で意見を出し合い話し合う。

### 職員の資質向上

研修に参加したり専門書を読むなどして、保育に関わる様々な知識を習得したり技能の向上に努めます。  
一人ひとりの成功体験、失敗を共有評価し資質向上に取り組めます。